

グローバル人材育成の推進に関する

政策評価書

平成29年7月

総務省

前 書 き

少子高齢化・人口減少により国内市場が縮小し、企業の海外進出が急速に進んでいる中、我が国企業のグローバル市場開拓に資する人材の確保が求められている。

このような中、第2期の「教育振興基本計画」（平成25年6月14日閣議決定）において、豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神等を身に付けたグローバル人材等の養成・確保を図り、成長分野の産業活性化や新産業の創出などを実現するとの方針が示された。

同計画では、グローバル人材の養成に向けて、①外国語教育の強化、②高校生・大学生等の留学生交流・国際交流の推進、③高校・大学等の国際化への支援、④国際的な高等教育の質保証の体制や基盤の強化に取り組むこととされている。

一方、企業が海外展開を進める中でグローバル人材の確保が依然として大きな経営課題とされているなど、グローバル人材育成の進捗が懸念される状況となっている。

また、現在、平成30年度を開始年度とする次期教育振興基本計画の策定に向けた作業が進められているところである。

この政策評価は、以上のような状況を踏まえ、グローバル人材育成の推進に関する政策について、総体としてどの程度効果を上げているかなどの総合的な観点から評価を行い、関係行政の今後の在り方の検討に資するために実施したものである。

なお、「グローバル人材」の育成という政策目標については、当省政策評価審議会の委員から、人材育成という観点を踏まえれば、現状における成果指標の達成状況の評価にとどまらず、例えば、グローバル人材育成の目的をより広い視点で捉えた上で、今後の国としての取組の在り方も検討していく必要があることなどから、多様な評価基準や中長期的な視点をもって、その育成状況等のフォローアップを行っていくことが重要であるとの指摘がなされている。

目 次

第1	評価の対象とした政策等	1
1	評価の対象とした政策	1
2	評価を担当した部局及びこれを実施した時期	1
3	評価の観点	1
4	政策効果の把握の手法	1
5	調査対象機関等	2
6	学識経験を有する者の知見の活用に関する事項	2
7	政策の評価を行う過程において使用した資料その他の情報に関する事項	2
第2	政策の概要	3
1	政策の背景	3
2	第2期教育振興基本計画	3
(1)	グローバル人材育成に関する施策及び関連事業	3
(2)	グローバル人材育成に関する成果指標	8
3	グローバル人材育成に関連する予算の推移	9
第3	政策効果の把握の結果	13
1	グローバル人材育成に関する施策の全体評価	13
2	グローバル人材の確保状況等に関する企業の意識調査	25
3	グローバル人材育成に関する個別の施策・事務事業の実施状況	70
(1)	日本人大学生等の留学生交流・国際交流の推進	70
ア	日本人大学生等の海外留学の促進	70
(ア)	日本人大学生等の海外留学の状況	70
(イ)	スーパーグローバル大学等事業採択大学における海外留学の状況	73
(ウ)	その他（「日本人学生留学状況調査」（JASSO）における日本人留学生の把握方法）	85
イ	外国人留学生の受入促進	88
(ア)	外国人留学生の状況	88
(イ)	スーパーグローバル大学等事業採択大学における外国人留学生の状況	91
(ウ)	その他（留学生交流事業による広報、情報提供等の状況）	99
(2)	大学における英語をはじめとする外国語教育の強化及び国際化のための取組への支援	104
ア	大学における英語をはじめとする外国語教育の強化	104
(ア)	成果指標の達成状況	104
(イ)	GGJ採択大学における英語をはじめとする外国語教育の強化の取組状況	107
イ	大学における国際化のための取組への支援	111

(ア) 成果指標の達成状況	111
(イ) G G J 採択大学における国際化のための取組状況	114
(3) 小・中・高等学校における英語をはじめとする外国語教育の強化	116
ア 生徒の英語力の向上	116
(ア) 生徒の英語力の状況	116
(イ) 生徒の英語力の向上に関する取組状況	130
イ 英語教員の英語力の向上	147
(ア) 英語教員の英語力の状況	147
(イ) 英語教員の英語力の向上に関する取組状況	151
(4) 高校生等の留学生交流・国際交流及び高校の国際化の推進	157
ア 高校生等の海外留学及び高校の国際化の推進	157
(ア) 海外留学の状況	157
(イ) 海外留学の促進に関する取組状況	158
イ スーパーグローバルハイスクールの創設	160
第4 評価の結果及び勧告	162
1 評価の結果	162
2 勧告	168
関係資料	169
参考資料	173